

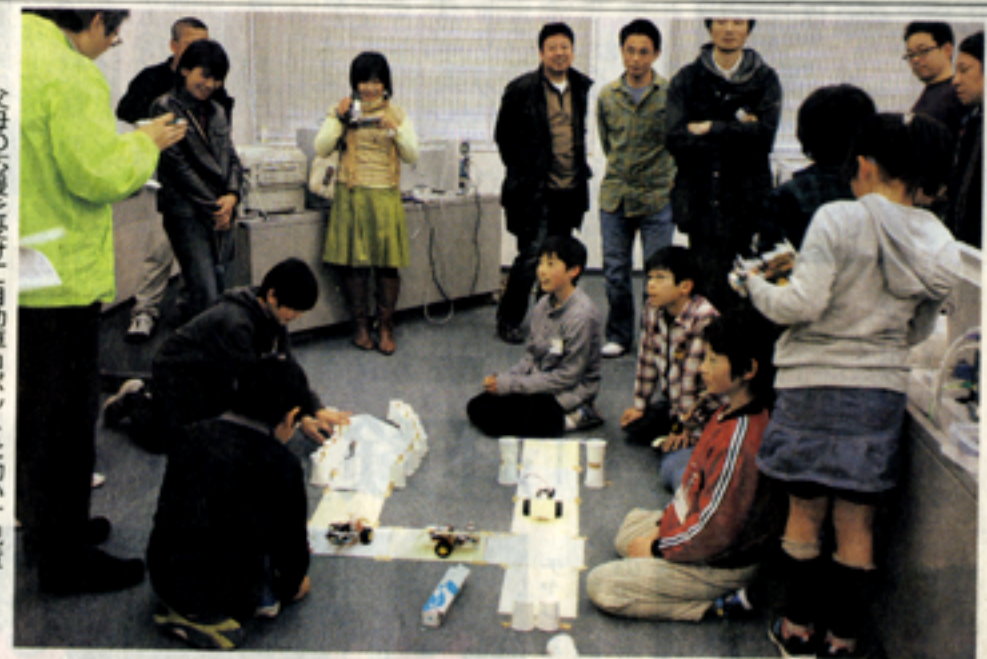
河北新報

3月29日(月)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
郵便番号 980-8000

「東」は、未来



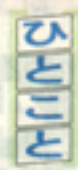
父母の応援を受けて自動車ロボットを動かす児童

僕らのロボット、発進! 仙台でもロボコン

仙台市青葉区少年少女発明クラブの「第3回伊達泰宗杯」子どもロボコン大会が27日、泉区の東北生活文化大学短大100周年記念棟で開かれた。仙台市などの小学4、6年のメンバー32人が1年間かけて作った二足歩行ロボット「ロボビー」と自動車型ロボット「梵天(ぼんでん)丸」を操縦した。

二足歩行ロボットは経験3年以上の上級者が作った。徒競走や3、4人のチームに分かれてサッカー、ジャンケンなどのパフォーマンスを披露した。

児童はプログラミングを調整してロボットを動かした。クラブの泰宗道会長(63)は「技術はいずれ習うので、小学生のうちには考える力を育てることが大事だ」と話した。



第3回伊達泰宗杯子どもロボコン大会に参加した
利府町青山小6年
高橋 丈君(12)



◆足上げる角度大事◆
二足歩行ロボットは、片方の足を上げる時の角度が大事。プログラムを決めるのに時間がかかりました。夢は絶対に転ばないロボットを作ることです。